

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人 フェロージョブステーション 多機能型事業所フェローLabo			
○保護者評価実施期間	R7年10月11日 ～ R7年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	R7年11月5日 ～ R7年11月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月3日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	IT機器を使用した支援	お子さまに合わせた内容を提案しております。 例えば、パソコンに触ったことのないお子さまが、セッティングから自分でできるようになる。トラブル時に対応できるようになるなど	個別のカリキュラムを充実させていきたいと思っています。
2	多機能による就労系事業所との連携	お子さまが将来働くことを考えて提案を行っています。	コミュニケーション面で不安のあるお子さんでも、IT機器を使っ てのコミュニケーション能力をアップしていきます。
3	IT×遊びの提案	お子さまたちのITの学び場として、IT×遊びのご提案をしています。 例えば、オリジナル傘を作ろうのイベントでは、タブレットやパソコンを使って、自分で描いたイラストでシールを作り、自分だけの傘を作っていました。	オリジナル傘だったら、「どこに文字を貼る」「ここに大きな自分で描いたイラストを貼る」など、出来上がった物をイメージするなど、デザインも考えて学習したいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の軸がたくさんあることで、一つのことに打ち込めない。	活動として取り組めることがたくさんあるため、一つひとつの学びが薄くなってしまいがちがあります。	ステップアップできる提案を考えながら、一人ひとりのペースに合わせた活動を提供していきたいと思っています。
2	不登校児の方を対象にした活動カリキュラムが定まっていない。	それぞれのニーズに合わせた活動スケジュールやカリキュラムの選択肢を作ることができていません。	長時間の利用になることもあり、児童が受け入れられる活動スケジュールと一緒に考えていこうと思います。選択できるスケジュールを提案してみます。
3	活動内容が固定化しやすい。	最初に覚えたIT学習から新しい活動へ促すための選択肢が少ないです。	選択できる活動を提示することで、できることを増やしていくように支援を行っています。その際、期間や目標を作ることで次のステップに進めるように支援を行っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 特定非営利活動法人フェロージョブステーション  
多機能型事業所フェローLabo

公表日 令和8年2月3日

利用児童数 47

回収数 30

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	4	1	2	お迎えに行った際、十分かどうかは分かりませんが、 だいたいそのように感じました。	活動するスペース、気分的に少ししんどくなった時に過ごせる場所を用意しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2	1	6		現在、管理者1名、児童発達支援管理者1名、児童指導員（常勤5名、非常勤1名）を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1		8		玄関などバリアフリーを補うために、スロープも用意しています。フロア内は、バリアフリーです。トイレも車いすが入れるトイレをご用意しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	2		6	私は、建物内の匂いが苦手だが、子供はあまり気にしていなかった。	活動室に窓が少ないため、常時換気扇を回すことと定期的に窓を開けることで、換気を行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	3		2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	1		3		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25			5		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	7	1	3		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか	8	6	3	13		
保護 者 へ の ...	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29			1		イベントを行うなどの活動は現在実施していませんが、今後、児童クラブとの連携も考えております。また、休日利用日には、近隣の公園での活動も行っています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	4	1	16		ご家族に対する保護者会・勉強会などの開催も予定しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	2		2		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24	3	1	2		半年に1度のモニタリングを行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1		2		

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	6	3	15		ご家族も参加していただけるイベントをご案内させていただきました。今後増やしていこうと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23			7		ご契約の際に対応の体制はご説明させていただいています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	2		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	2		3		毎週金曜日にInstagramの更新を行っています。子どもたちの成長の様子を見ていただけるようになっています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27			3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		8		全てのマニュアルを保管しております。今後、保護者様への周知・説明に対して行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2		7		避難訓練は、年に2回児童と共に行っています。また、その他、職員の避難訓練も行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2		7	地震 南海トラフ が 心配です。 1 階なので潰されないか心配です。	安全計画を作成しております。消防署の立ち入りによる点検も行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	2		8		児童同士のトラブルによるケンカなどに対しては、ご家族へ連絡帳と電話にて説明を行っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29			1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	3		1		100%になることを目指して精進して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		特定非営利活動法人フェロージョブステーション 多機能型事業所フェローLabo		公表日		R8年2月3日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・目が届くような人員配置 ・利用人数、児童に対してレイアウトを変えるなど工夫をしている。	目が届くような人員配置、利用人数に対して、レイアウトを変えるなど工夫している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・非常勤の確保 ・シフト作成の時点から配置数を適宜意識しており、不足になりそうの際は別組織からヘルプを出す手配をとっている	シフト作成の時点からスタッフの配置を意識しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・車いすの方が利用できるほどの広いスペースになっている、また見通しのいい空間となっている どこに何を子どもたちにとって分かりやすいレイアウトにはしていない。	車いすの方にも利用しやすいようなスペースの確保を行っている。また、玄関先の段差には、スロープを使用するなど、環境上の配慮を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・清潔で、心地よく過ごせる環境でなっている、ただ広い空間のため児童にとっては落ち着きが難しい空間ともなっている	建物は、古いですが、清潔で心地よく過ごせるように利用前後には、清掃を行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・スタッフ側の席や相談室など、児童の体調不良、不安定な様子に合わせて活動場所を切り替えるなど個別のスペースが確保できる状態になっている。	同一空間の中で活動することが難しい場合には、その場から離れての活動ができるようにしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・情報共有ができるようにミーティングの時間をとっている ・年に一回取り組んでいる。ただ、毎月取り組んでいけるよう改善していきたい	設定された目標に取り組むことができるように、スタッフ間の情報共有と全社員合宿で取り組んでいます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケートに基づいて工夫している ・アンケートの確認を行えている。実践は今後検討していく	アンケートにより、分かりにくい点は、保護者様へ分かっていたるように、モニタリングの中や全体へのメッセージなどにより発信していこうとしています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・意見交換の場を設けている ・伝える場はあるが、まだ全体のイメージが足りていない状態。	年に2回の上司面談や幹部との面談などを行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・未端までの情報共有が未 ・行っているかもしれないが、自分が把握できていない	現時点で第三者による外部評価は行っていますが、常にスタッフ間での話し合いを行って業務改善につなげています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修、勉強会を定期的に開いている ・毎月虐待防止研修などで定期的に学びの場がある	虐待防止委員会などを通して、勉強会を定期的に開催し、また、外部への研修も全職員へ案内しています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・個別支援計画に基づいて話し合いし工夫している	毎年、支援プログラムを見直し、改善するとともに、公表しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			保護者様へのアセスメントを契約時に行わせていただくと共に、相談支援事業所への確認もさせていただいて、スタッフとの情報共有の上、作成しています。
						子どもたちへの問題や成長を感じるところなど、スタッフ間で話し合ったうえで、作成するように心がけています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			特に変更のあったことに関しては、スタッフ間で話し合う時間も作っています。計画は、常にスタッフが閲覧できる場所に保管しています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・システム導入により、記録の作成・共有が簡易になった。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・他事業所との連携	全項目を用いての、支援内容を決めています。モニタリングでいただいた情報や振り返りにより、支援内容を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・児発管と指導員での協議	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・選択できるようにプログラムを作成 ・毎年定期的に行えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別で支援できている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・その日の役割分担を行っている。	朝、打ち合わせと確認できるようにしていますが、子どもたちの来所時間によっては、活動中に行うこともあります。その日の支援の内容や役割分担については、状況を見ながら判断することもあります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・時間を作らなければいけない ・送迎もあり、必ずしも対面での実施はできていない。 LINEworksなどの連絡ツールを用いて共有を行っている。	支援後にできない場合は、翌朝、振り返りを行うようにしています。また、グループLine等を利用して、スタッフ間での共有をおこなっています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・ミーティングの徹底	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的なモニタリングを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			自立支援、創作活動、地域交流、余暇提供の4つの組み合わせで、放課後利用時と学校休業日に合わせて活動内容を考え、支援しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・児発管、支援員での話し合い	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児発管が参加	基本的に児発管や管理者が参加させていただいています。その際、主に担当するスタッフを同行したりしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・学校・関係機関との支援会議を行い、情報共有など連携して支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校、保護者への確認を行っている ・親御さんを通してが主ではあるが、送迎時のやり取りの中で情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・情報共有ができるように工夫している ・小学校へ入学前に園へ訪問を行い、情報共有や支援に繋がれた。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・相談員と共有できている	障害福祉サービス事業所様からの申し出がありましたら、提供させていただいています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・積極的に参加している	児童発達支援センター様との連携は、今後考えているところです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・秋祭りの開催等 ・交流できる環境整備を行う	公園での活動など、地域の子どもたちと一緒に過ごす機会もあります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・電話等で共有している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・勉強会を検討している ・実施のために動いている段階である。	ご家族に対するペアレント・トレーニングに関しては、今後取り入れていきたいと思っています。また、保護者様との情報交換ができる機会を保護者会などを通して作っていきたくと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・理解できるように説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリング前の支援会議	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・理解してもらい同意してもらっている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて相談に応じている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	・できるように検討している。	イベントによっては、ご家族様も一緒に参加していただくこともあります。保護者同士、きょうだい同士で交流の機会は、今後提供できるように計画を立てております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・InstagramやHUGアプリの活用 ・HP SNSを活用している	毎週金曜日に、Instagramを更新して、お子さまたちの成長を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・勉強会を開いて留意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・可視化している	タブレットなどの機器を使ったり、カードを選ぶなど、意思疎通を図っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・秋祭りの開催	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・定期的に研修を行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・保護者等へ確認を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギーの有無を確認している	事前に聞き取った情報以外でも、本人からアレルギーのあることを伝えられた場合などは、直ぐに保護者様にご連絡し、配慮させていただいています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・定期的に行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・役割、担当が決められている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・可視化して共有できている	ヒヤリハットは、事業所内のみの共有ではなく、自社福祉事業部での共有を行っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止運営	虐待防止委員会を設置して、定期的に研修を行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・保護者に了解を得て記載している	